

飯山市第5次総合計画
後期基本計画
(素々案)

目次 第5次総合計画 後期基本計画

1. 総合計画について

総合計画の構成と期間

基本構想

2. 前期基本計画の振り返りについて

前期基本計画について

3. 後期基本計画 計画内容

後期基本計画について

施策の体系図

■いいやまづくりの重点施策について

後期基本計画いいやまづくりの重点施策

◆後期基本計画

第1章 自然共生による新しい価値観の発信

1. 産業連携
2. 自然景観
3. 克雪・利雪・自然エネルギー
4. 環境保全
5. 情報化と情報発信

第2章 飯山の四季の美しさを活用したまちづくり

1. まちの玄関・顔づくり
2. 土地利用と環境
3. 道路
4. 公園
5. 上下水道

第3章 高速交通網による交流の促進

1. 観光・交流
2. 公共交通

第4章 地域産業おこしと若者定住

1. 産業技術支援
2. 農林業
3. 商工業
4. 雇用・就業
5. 住宅・移住定住

第5章 たくましさと郷土愛を育てる教育

1. 学校教育
2. 生涯学習
3. 地域文化の振興と発信
4. スポーツ・レクリエーション
5. 人権・男女共同参画

第6章 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち

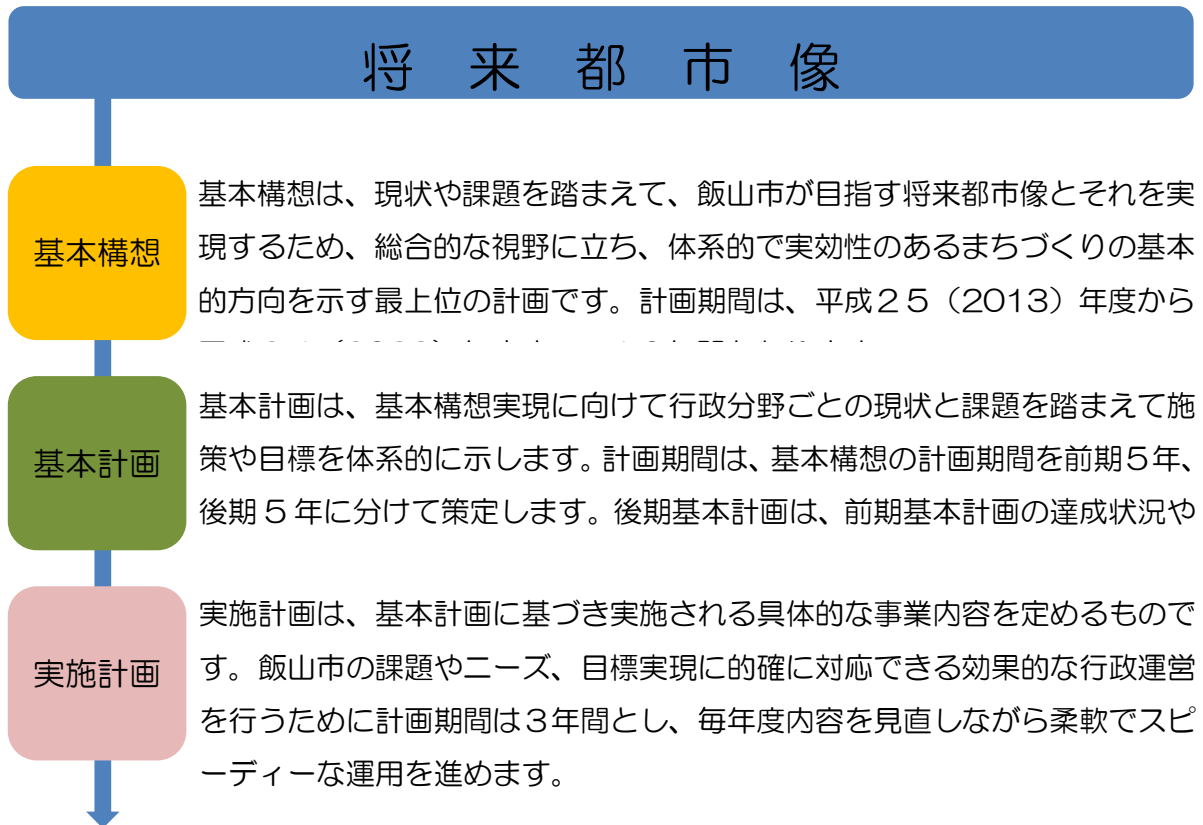
1. 地域福祉
2. 高齢者福祉
3. 障がい者福祉
4. 子育て
5. 保健・健康
6. 医療
7. 防災
8. 消防・救急
9. 防犯・交通安全
10. 消費者保護
11. 行財政
12. 広域連携
13. 市民協働

1. 総合計画について (仮)

飯山市第5次総合計画の構成と期間

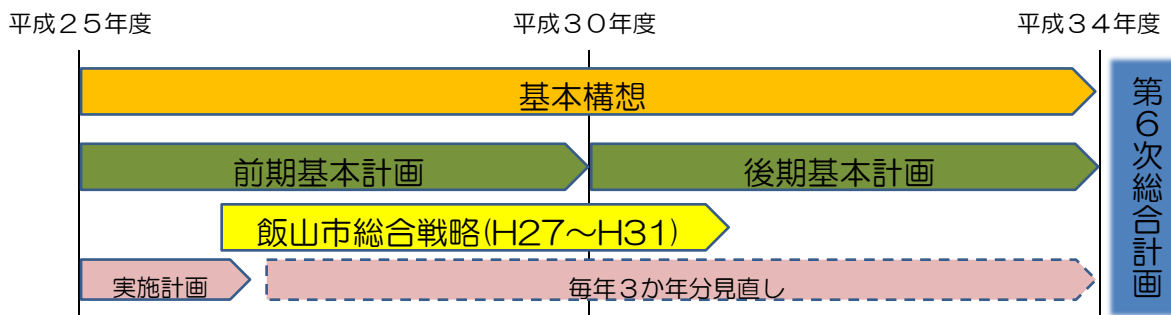
総合計画は、10年後の飯山市の将来都市像を描き、その実現に向けた方向性や目標を示した行政運営の最も基本となる計画です。

総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画の3つで構成されています。



■第5次総合計画の計画期間

- 基本構想 平成25年度から平成34年度
- 前期基本計画 平成25年度から平成29年度
- 後期基本計画 平成30年度から平成34年度



・基本構想 (仮)

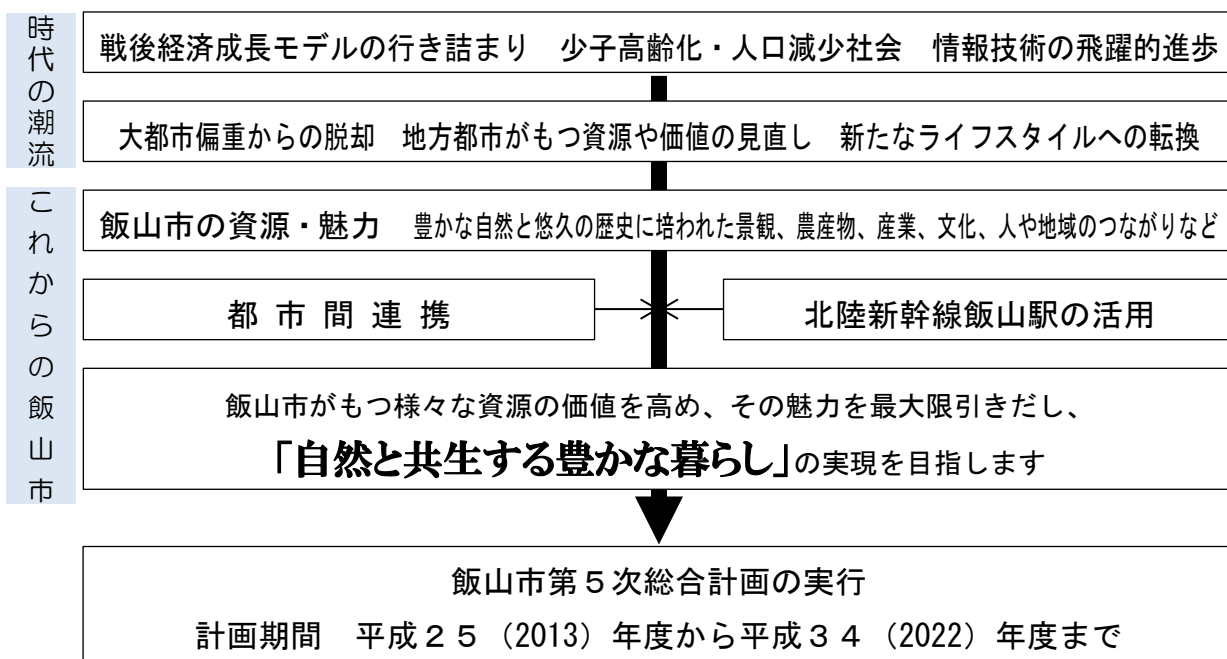
基本理念

飯山市は、四季の変化に富んだ自然、先人から脈々と受け継がれてきた豊かな農地や山々、長年の歴史に彩られた特色ある伝統文化や産業を背景として、日本海と信州を結ぶ交通の要衝として古くから発展してきた都市です。

日本有数の豪雪地である雪国・飯山市の暮らしは、お互いに支え合う温かみのある地域をつくり、その暮らしの中で培われた英知と技術は、飯山市を全国に誇れる各種農産物の一大産地に成長させ、また、雪国ならではの生活や文化を色濃く反映した産業を生み出し、発展させてきました。

このように今日の飯山市の成長の原点は、厳しくも豊かな「自然」であり、その環境で培った「産業技術」、そしてそこに暮らす人々の「支え合いや助け合い」のある暮らしだと言えます。またこれらこそが、飯山市にとって無二の資源であり、今後の飯山市の更なる発展に欠くことができない重要な要素です。

北陸新幹線飯山駅開業を契機として、北信州や信越地域の広域連携の拠点となる飯山市が、子どもや高齢者はもちろんのこと現役世代にとっても住みやすく、安心やゆとりが実感できる生活を送ることができる「自然と共生した新たな価値創造の都市」として更に発展することを目指し、市民一人ひとりが主役となってまちづくりを進めましょう。



自然と共生する豊かな暮らし 「^{わざ}技と^{えにし}縁のまち 飯山」

■自然との共生

飯山市の四季の美しさ・豊かな自然は、大都市では決して手に入れることのできない貴重な財産です。厳しくもかけがえのない自然環境を守りながら、飯山市の気候、地形、特性等を踏まえ、人と自然とが調和した快適で持続可能な豊かな暮らしを創出します。

■技を磨く

飯山市には素晴らしい地域資源や素材が豊富にあります。しかし、人の「技」がなければそこから価値を生み出すことはできません。地域の暮らしを支えてきた産業の技を更に磨くとともに、新しい活用技術にチャレンジし、新たな価値創造を目指すとともに「飯山のブランド」を全国に発信します。

■^{えにし}縁はぐくむ

人と人、人とモノ、地域と地域など、あらゆるつながりやネットワーク、関わり合いによって生み出される社会を取り巻く様々な動きを「縁（えにし）」と捉え、新幹線によって新たに結ばれる縁とともに、これまで先人が培ってきた地域で互いに支え合う縁をまちづくりの柱として更にはぐくみます。

地域や都市との連携、交流を進め、それぞれに特徴をもつ地域が相互に補完し合うことによって、「訪れたいまち、住み続けたいまち 飯山市」をつくりまします。

まちづくりの基本的方向

まちづくりの方向性と分野区分

まちづくりの基本理念を踏まえ、将来都市像の実現を目指すため、本市における総合的な行政分野の方向性を6つの分野ごとに定めます。

将来都市像

自然と共生する豊かな暮らし
「^{わざ}技と^{えにし}縁のまち飯山」

(1) 自然共生による新しい価値観の発信

産業連携 自然景観 克雪・利雪 自然エネルギー 環境 情報化

(2) 飯山の四季の美しさを活用したまちづくり

土地利用 都市・地域基盤

(3) 高速交通網による交流の促進

観光・交流 公共交通

(4) 地域産業おこしと若者定住

産業技術支援 農林業 商工業 雇用 移住定住

(5) たくましさと郷土愛を育てる教育

教育 生涯学習 文化 スポーツ 人権

(6) 子どもから高齢者まで安心して暮らせるまち

福祉 子育て 保健 医療 安全・安心 市民協働 行財政

後期基本計画で分野ごとの施策等を定めます。

2. 前期基本計画期間の状況について 振り返り

別冊

課題（審議会委員からご意見）

1)

2)

3)

4)

後期基本計画（案）

3. 後期基本計画 計画内容

後期基本計画について

1) 計画策定の趣旨

この計画は、基本構想に掲げる将来都市像「自然と共生する豊かな暮らし「技と縁のまち 飯山」実現のため、市の現状や課題を把握するとともに、具其他的な方向性を示す基本指針として策定するものです。

2) 計画の期間

この計画の計画期間は、平成30年度から34年度の5カ年とします。なお、必要に応じて見直します。

3) 計画の構成

(1) 「いいやまづくり」重点プロジェクト

「いいやまづくり」重点プロジェクトは、将来都市像の実現を先導するものとして、市民、市外の方からも「住みたい」「訪れたい」と思われる魅力あふれる飯山市をつくるため、**重点的かつ戦略的な取組み**を進めていきます。

(2) まちづくりの基本目標

1章から6章に分かれ、6つの「まちづくりの基本目標」の具体的な施策とその関係を体系的に示し、市の状況と課題、施策のめざす姿、主な取り組みなどを明らかにするものです。

後 期 基 本 計 画 (い いやまづくり重点プロジェクト)

「い いやまづくり」重点プロジェクト

★「い いやまづくり」の重点プロジェクトとは、基本構想に掲げる将来都市像の実現を先導するものとして、市民、市外の方からも「住みたい」「訪れたい」と思われる魅力あふれる飯山市をつくるため、重点的かつ戦略的な取組みを進めていきます。

後期基本計画期間内で、特に優先的・重点的に取組む施策や、各部・各課等の行政分野を横断して展開する施策を重点プロジェクトに位置付け取組みます。

(案) (重点プロジェクト 3つから6つ程度を設定)

1.

2.

3.

重点 1.

いいやま「 」プロジェクトのイメージや説明。

◆主となるとりくみ（案）

・

■アンケート等から

・

●審議会委員 意見

・

重点

いいやま「 」プロジェクトのイメージや説明。

◆主となるとりくみ（案）

・

■アンケート等から

・

●審議会委員 意見

・

重点 3.

いいやま「 」プロジェクトのイメージや説明。

◆主となるとりくみ（案）

-
-

■アンケート等から

-

●審議会委員 意見

-

後期基本計画

4 前期基本計画 施策体系図

将来都市像 自然と共生する豊かな暮らし

自然共生による新しい
価値観の発信

飯山の四季の美しさを
活用したまちづくり

高速交通網による
交流の促進

地域産業おこしと
若者定住

基本構想において定められた、将来都市像の実現のための総合的な6つの行政分野の方向性に対する完了等、後期基本計画としての施策を検討していきます。

産業連携 11ページ

- 産業間連携による付加価値や魅力の向上
- 人材や組織の連携推進

自然景観 12

- 自然環境の保全と動植物の保護
- 良好な景観形成の推進

克雪・利雪・自然エネルギー 13

- 克雪対策の維持・確保
- 多様な利雪対策の充実と自然エネルギーの活用研究

環境保全 14

- 環境意識の高揚と自然環境の活用等の充実
- ごみの減量と再資源化の推進

情報化と情報発信 16

- 情報基盤の充実・活用
- 情報発信力の強化

まちの玄関・顔づくり 19ページ

- 新幹線駅周辺の整備
- 交流シンボル拠点の整備
- にぎわいあふれる街並みの整備

土地利用と環境 21

- 自然環境と調和・共生した土地利用の推進
- 機能的で文化的生活ができる都市環境の形成

道路 23

- 広域幹線道路ネットワークの充実
- 生活道路ネットワークの充実
- 多様なみちづくりの充実

公園 25

- 都市公園や歴史公園の整備充実
- 多様な公園の整備充実

上下水道 26

- 上水道の充実
- 下水道の充実

観光・交流 29ページ

- 広域観光連携の強化
- 観光ホスピタリティ（おもてなし意識）の充実促進
- 多様な観光プログラムの充実促進
- 多様な交流の促進

公共交通 31

- 公共交通機関の充実支援
- 北陸新幹線飯山駅を中心とした2次交通網の構築

産業技術支援 34ページ

- 新産業の創出と既存産業の付加価値向上の支援
- 地域経済コーディネーターの育成支援
- 地域資源を活用した起業支援と付加価値向上の支援
- 食産業の育成支援

農林業 36

- 担い手や農業集団・組織の育成、農地利用集積
- 地域らしさのある営農振興
- 農林業施設、生産基盤等の整備

商工業 38

- 商業空間・商業基盤の充実促進
- 伝統産業の伝承と振興
- 工業基盤の充実と活用促進

雇用・就業 40

- 情報提供・相談等の充実
- 就業を通じた地域定着の促進

住宅・移住定住 42

- 移住定住に向けた環境整備
- 市営住宅の維持と更新
- 空き家対策の推進

「^{わざ}技と^{えにし}縁のまち 飯山」

たくましさ
と郷土愛を
育てる教育

子どもから高齢者まで
安心して暮らせるまち

★6つの
まちづくりの
基本的方向

施策について、前期基本計画で計画された内容を、後期基本計画において、新規、更新、変更、修正、

<p>学校教育 46ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力・体力向上事業の充実 教育環境と教育施設の充実及び検討 地域で支える教育環境の推進 <p>生涯学習 48</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習意識の高揚 生涯学習環境の充実 知の循環型社会の構築推進 図書館の充実 <p>地域文化の振興と発信 50</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝統文化の尊重・継承 「(仮称)飯山ぶらざ」の多面的活用 ふるさと館を活用した地域文化の学習推進、情報発信 芸術文化施設の充実 <p>スポーツ・レクリエーション 52</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツやレクリエーションの振興 スポーツ関連施設の維持・充実・強化 関連団体と人材の充実 <p>人権・男女共同参画 54</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権意識の向上 男女共同参画社会づくりの推進 	<p>地域福祉 58ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉意識の高揚 地域に根ざした福祉の担い手育成 社会福祉関連事業の推進 <p>高齢者福祉 60</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の運営充実 地域包括支援センターの充実 高齢者福祉の充実 <p>障がい者福祉 62</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい福祉サービスの充実 多様な障がい者支援の充実 <p>子育て 64</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援の推進 医療サービスの充実 地域で支える子育て環境整備の推進 <p>保健・健康 66</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康意識の高揚 多様な健康ニーズへの対応 <p>医療 68</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域中核医療機関の整備・充実 多様な医療ニーズへの対応 地域医療の充実 	<p>防災 69ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害対策の推進 治山・治水事業の推進 災害危険性の低減・抑制 地域ぐるみの防災体制充実 <p>消防・救急 71</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防体制の充実 救急体制の充実 <p>防犯・交通安全 72</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯活動の促進 交通安全の充実 <p>消費者保護 73</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費保護の推進 <p>行財政 74</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的で質の高い行政運営の推進 安定と活力ある財政運営の充実 <p>広域連携 76</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な広域連携の推進 新たな広域連携の推進 <p>市民協働 77</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報の共有と意識反映の推進 まちづくり市民活動の促進
--	---	---

各章の行政分野ごとの施策に修正（赤字）を入れていきます。

※第2回の審議会では、参考として第1章分の内容のみを提出します。

各章の各施策等の設定については、さらに市役所内の庁内委員会にて検討した後、第3回以降の審議会へ提出していきます。

第1章 自然共生による新しい価値観の発信

1. 産業連携

◆修正、追加する部分は「赤字」で表示。
削除する部分は、二重取り消し線で表示。

◆ 現 状 ◆

我が国社会全体が、成長から成熟の時代へと移り変わるなかで、地域におけるさまざまな産業の振興とともに、各産業が連携し、新たな付加価値や魅力を作っていくことが活性化に結びつく大きな要素として期待されています。

農商工連携や「6次産業化」など、地域として連携やバランスの取れた産業構造の構築をめざすとともに、豊かな自然に恵まれた様々な素材や資源を特産品や観光サービスなどの開発に活かし、特産品や観光サービス等、この地域ならではの複合的な産業振興を図っていくことが求められている。

◆ 課 題 ◆

- 農商工など産業・組織・人・地域の連携による産業振興
- 飯山市の豊かな自然、地域資源を活用したブランド化と情報発信力の強化
- 連携組織の中心と成り得るリーダーの把握と人材育成。地域の機運の盛り上がり。**

◆ 施 策 ◆

(1)産業間連携による付加価値や魅力の向上

生産、流通、販売等それぞれの分野が連携・協力し、豊かな自然がもたらす地域の資源を活用した付加価値の創造や魅力の向上を図り、発信を行います。産品・製品の開発から製造、普及・PR、流・販売に至るまで、さまざまな連携・異業種交流を模索しつつ、飯山市や北信圏域等のブランド醸成に資する産業活動を支援します。

施策	目標
①生産、製品開発、流通、販売等の幅広い連携促進による「飯山」のブランド化への取り組み	・農産物、工芸品、土産品等の開発販売チャネルの拡大
②多様なニーズに応える農産物、工芸品等販売戦略展開	・飯山市起業支援センター（あすちやれ）を活用した商品開発 ・農福連携関係

(2)人材や組織の連携推進

市民、学術・研究機関、行政機関等、地域ぐるみの取り組みを推進します。

施策	目標
① 異業種や産学官等の多様な連携促進	・連携組織の設立 ・新たな連携組織の設立 1団体

2. 自然景観

◆ 現 状 ◆

豊かな自然に育まれた飯山市では、信越トレイルやブナ林等を活用した自然利用型観光の取り組みが積極的に行われ、保護活動も並行して行われています。

また、山並みや千曲川など自然を背景とした沿道景観や田園景観などを守るルール作りが進められ、歴史や文化的な街並みを活かした修景整備も新幹線開業に伴い本格的に始まっています。

今後さらに、官民一体となった自然環境の保護と景観づくりを進めるとともに、情報の発信が求められています。

◆ 課 題 ◆

○豊かな自然環境や景観を守り、育てるための市民意識の醸成と活動の活性化

○継続していく人材の確保、観察会の講師やその後の啓発につなげるための人材確保

○北陸新幹線飯山駅開業を契機とした、自然、歴史、文化的な街並み等を活かしたまちづくりの推進

◆ 施 策 ◆

(1)自然環境の保全と動植物の保護

飯山市の自然環境の保全や動植物の保護活動を通じ、飯山市らしさを醸成する環境を適切に保全し活用します。

施策	目標
----	----

<p>①市民共有財産としての農地や里山の保全活動推進 ②自然環境保全対策の推進 ③野生動植物保護と生物生息地や生育地保全 ④自然環境の調査や研究活動の推進</p> <p>施策①～③を統合検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブナ林の保護と活用の推進 ・斑尾山周辺や黒岩山などの生態系の保護活動の推進 ・NPOなどの環境保全活動への支援 ・継続的な調査活動を実施するための組織 ・人材づくり ・自然観察会を通じた組織・人材づくり
---	---

(2)良好な景観形成の推進

飯山市の自然や景観を守り育て、市民と事業者と行政による景観づくりを進め、産業等に活かす取り組みを進めます。

施策	目標
<p>①景観形成基本計画による飯山らしい景観形成 ②自然環境と共存する建築や屋外広告物の規制誘導 ③屋外広告物規制の見直し</p> <p>飯山市景観計画及び飯山市風景づくりガイドラインによる飯山らしい景観形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・景観計画及び景観形成ガイドラインの策定 平成25年度末 ・景観行政団体への移行 平成25年度末 ・景観形成住民協定締結の推進 6→11地区 <p>・景観形成住民協定締結若しくは風景づくり市民団体締結推進 8→11団体</p>

3. 克雪・利雪・自然エネルギー

◆ 現 状 ◆

雪は、飯山市の自然文化の象徴であり、飯山市の生活、経済、文化等を語る上で不可欠な要素です。

飯山市では冬期間、市内の全市道の約半分にあたる延長 360km の除雪を行い、経済活動や市民生活の安定を図っています。

観光やエネルギー等、雪活用の方策を見出すとともに、冬の暮らしを快適にするため、雪の負担やハンディを克服しつつ、これからも地道で継続的な取り組みを進めていく必要があります。

その他、小水力エネルギーの活用や研究への支援も進めていきます。

◆ 課 題 ◆

- 雪による様々な負担の軽減と快適な冬の暮らしの確保
- 産業やエネルギーなどあらゆる面での雪の利活用の促進
- 消雪パイプ、無散水消雪など消融雪施設の老朽化
- 除雪オペレーターの不足と高齢化対策
- 雪冷熱利用の雪室施設の設置にあたって、冷蔵する商品の選定と冷蔵したことによる付加価値の設定
- 小水力発電施設は、水利権が課題

◆ 施 策 ◆

(1) 克雪対策の維持・確保

快適な冬の暮らしを守り、安心して飯山に住み続けるため、生活道路の除雪体制や消融雪施設の安定維持を図るとともに、住宅や道路などの生活環境の克雪対策を市民と協働で行い、雪に強いまちづくりに取り組んでいきます。

施策	目標
①生活道路の安定した除排雪及び消融雪施設の維持 ②市民と協働で行うきめ細かな除排雪 ③克雪住宅研究開発と普及 除雪オペレーターの要請 ④スクラム除雪の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した消融雪施設の更新 10カ所 ・優良オペレーターの表彰 10名

(2) 多様な利雪対策の充実と自然エネルギーの活用研究

~~冬期間の観光振興など、地域ならではの雪に親しむ環境の充実や雪冷エネルギー等、新エネルギーの研究動向を踏まえた、豪雪地としての特性を活かしたまちづくりの可能性を追求していきます。~~

ふんだんに降る雪を資源ととらえ、雪に親しむ環境の充実や、雪冷熱エネルギーの活用を進め、また豊富な水を利用した集落への小水力発電施設の導入支援をすすめます。

施策	目標
①利雪対策の研究 ②自然エネルギーの活用や研究への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への自然エネルギーの導入 ・雪冷熱の利活用の研究・支援 ・雪室施設の稼働 1カ所 ・小水力発電施設の導入支援 小水力発電施設の稼働 1カ所

4. 環境保全

◆ 現 状 ◆

飯山市成長の原点である豊かな「自然」を守り継承するため、暮らしや産業活動、観光や交流などに伴い発生する環境阻害要素を低減するための監視体制の整備など、環境保全を地域ぐるみで考え、実践していく重要性がますます高まっています。

公害やごみなどに関する監視や測定体制のほか、ごみの排出抑制、分別徹底などの計画的な推進が今後も求められるほか、市民の理解と協力により、環境に優しいまちづくりをさらに進めていく必要があります。

◆ 課 題 ◆

- 地球環境問題を見据えた持続可能な地域社会の構築
- 市・市民・事業者それぞれの自主的な環境保全への取り組みの推進と連携

◆ 施 策 ◆

(1)環境意識の高揚と自然環境の活用等の充実

市民や事業者等、地域全体での環境意識の高揚、関連指標の測定と監視や相談体制、さらには再生可能エネルギーなど、環境に対する日常的な関わりを充実し、その保全と活用に取り組んでいきます。

施策	目標
① 河川、湖沼、地下水の水質保全 ・ BOD 値減少の推進	• BOD (※) 値 千曲川 1.5mg/ℓ → 1.2mg/ℓ 中小河川 1.8mg/ℓ → 1.7mg/ℓ • 「環境を考え行動する市民会議」の設立
② 公害発生防止	
③ 環境に配慮した日常生活や事業活動の浸透	
④ 測定、監視、相談体制の充実	
⑤ 市民運動の展開	

(2)ごみの減量と再資源化の推進

分別や減量化など、市民の協力を得ながら、適切なおみ収集を実施していくとともに、資源回収やリサイクルなど、循環構造による環境への負担を軽減していく取り組みの充実を図ります。

施策	目標
①ごみ減量の推進 ②資源物回収と再生利用	・ごみの処分量 H22年度対比8.5%減 ・ごみのリサイクル率 22%→26.8%

5. 情報化と情報発信

◆ 現 状 ◆

ICT（情報通信技術）が充実し、人々の暮らしが大きく変わるなかで、ケーブルテレビ網を有効活用し、利便性や快適性の向上、産業の活性化など、さまざまな場面で活用が図られています。

公共的な総合情報通信基盤・メディアとして利便性が高く、魅力あるCATVサービスを提供するとともに飯山市の魅力を積極的に発信する取り組みを進める必要があります。

◆ 課 題 ◆

~~○北陸新幹線飯山駅開業の効果を最大限に活かすための情報基盤の充実と活用~~
~~○効果的かつ継続的な飯山市の情報発信と広報活動の促進による飯山市の認知度の向上~~

- 設備更改（特に伝送路）のための財源確保
- 伝送路の更新に係るコスト把握（自前の設備とするか光ケーブル卸サービスとするかの比較検討）のための専門的な調査・分析が必要。